

授業科目	*栄養治療学 I (A クラス)				単位	2		
履 修	必修	関連資格	栄養士 管理栄養士 栄養教一種免		ナンバリング	NT21802J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	渡邊 和美							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>医療機関に従事する管理栄養士は、栄養サポートチームの一員として栄養管理を担う。適切な栄養管理は、治療の促進、合併症発現の抑制、入院期間の短縮、ひいては、医療費の削減に繋がることになり、重要な業務といえる。</p> <p>本科目では、傷病者の病態や栄養状態に応じた適切な栄養管理(Nutrition Care Process)を行うために、各疾患の成因・病態、治療ならびに具体的な栄養管理方法について修得することを目標とする。各疾患における栄養食事療法の意義と目的、栄養アセスメント法、栄養ケア計画の作成、栄養ケア実施後のモニタリング法ならびに栄養ケア・マネジメントの評価法について解説する。医療・介護制度やチーム医療における管理栄養士の役割について理解することで、国民の健康維持・疾病からの回復に大きな役割を期待されていることを認識し、管理栄養士としての資質を身につけることを目標とする。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養診断、栄養介入計画、モニタリングの意義および方法を理解し、説明できる。</li> <li>2. 栄養補給法の種類、特徴および適応疾患を列挙できる。</li> <li>3. 各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法を説明できる。</li> <li>4. 各疾患の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケアの評価法を説明できる。</li> <li>5. 各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明できる。</li> <li>6. 薬剤と栄養・食物との相互作用を説明できる。</li> <li>7. 各疾患の栄養管理を理解したうえで、個人対応できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	50						50	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30						30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	5						5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	5						5	
態度(DP4-2)	5						5	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	5						5	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1~7 の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。さらに、修得した知識を応用して、さまざまな疾患の栄養管理方法を具体的に提示できる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養診断、栄養介入計画、モニタリングの意義および方法を理解し、説明できる。</li> <li>2. 栄養補給法の種類、特徴および適応疾患を列挙できる。</li> <li>3. 各疾患の成因・病態・治療法を理解し、治療のための具体的な栄養管理方法を説明できる。</li> </ol>				

			4. 各疾患の栄養ケア計画を作成し、栄養ケア実施後のモニタリング法、栄養ケアの評価法を説明できる。 5. 各疾患の治療のための栄養管理方法として、具体的な調理のポイントを説明できる。 6. 薬剤と栄養・食物との相互作用を説明できる。 7. 各疾患の栄養管理を理解したうえで、個人対応できる。	
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する	講義	復習:該当部分を理解する。	0 30
2	テーマ:疾病治療の基礎、意義と目的 疾病を理解するための基本を理解する。 参照ページ:p.1-30	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する	30 30
3	テーマ:管理栄養士の役割 I 医療・介護保険制度に基づいて傷病者、要介護者および障がい者の栄養管理の栄養教育実践および活動を理解する。 参照ページ:p.31-41	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する	30 30
4	テーマ:管理栄養士の役割 II 地域包括ケアシステム、緩和ケア、チーム医療、リスクマネジメント、薬物と栄養・食事の相互作用などを理解する。 参照ページ:p.42-56	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する	30 30
5	テーマ:栄養ケアプロセスについて 栄養診断用語、栄養ケアプロセス(NCP)の手順や記録方法を理解する。 参照ページ:p.57-87	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する	30 30
6	テーマ:血液系疾患、運動器系疾患 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ:p.268-287	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する	30 30
7	テーマ:栄養障害、精神・神経疾患 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ:p.103-117 p.252-267	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する	30 30
8	テーマ:代謝・内分泌系疾患 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ:p.118-141	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する	30 30
9	テーマ:消化器系疾患 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ:p.142-164	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する	30 30
10	テーマ:消化器・循環器系疾患 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ:p.164-191	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する	30 30
11	テーマ:腎・尿路系疾患 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ:p.192-223	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する	30 30
12	テーマ:高齢期疾患 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ:p.355-368	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する	30 30

13	テーマ: 悪性腫瘍、周術期 疾患 概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ: p.230-244	講義	予習: 教科書と配布資料で確認する 復習: 該当部分を理解する	30 30
14	テーマ: 栄養投与法 疾患概 要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ: p.88-102	講義	予習: 教科書と配布資料で確認する 復習: 該当部分を理解する	30 30
15	テーマ: 身体・知的・精神障がい者、総括 疾患概要、栄養評価、栄養治療、モニタリングを理解する。 参照ページ: p.317-323	講義	予習: 教科書と配布資料で確認する 復習: 該当部分を理解する	30 30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」で修得した知識を必要とする。特に疾患の成因・病態および治療法(「人体構造機能と疾病の成り立ち」等)に関する知識を必要とする。			
テキスト	塚原丘美編: 日本栄養改善学会「第7巻臨床栄養学 Nutrition Care Process に沿った傷病者の栄養管理」(医歯薬出版株式会社) ISBN: 978-4-263-72034-9 鈴木純子編: 新版臨床栄養学 栄養ケアプロセス演習—傷病者個々人の栄養ケアプラン作成の考え方—(株式会社同文書院) ISBN: 978-4-8103-1508-0 日本糖尿病学会編: 「糖尿病食事療法のための食品交換表(第7版)」(文光堂) ISBN: 978-4-8306-6046-7 黒川清監修: 「腎臓病食品交換表(第9版)」(医歯薬出版) ISBN: 978-4-263-70674-9			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて、資料を配付する。			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	栄養治療学はこれまで学んできた「生化学」「疾病診断治療学」「病理学」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」等を基に、管理栄養士として必要な実践的な栄養ケアの知識を学ぶものです。これらの科目を復習するとともに、シラバスを参照し、次回の講義内容について、予習して授業に臨んでください。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	成績評価として、試験を実施する。 詳細については、授業の中で説明する。